

地方
奨励賞ゆいりん
結 梨

梨と柿の6次産業化で鳥取を元気に！

概 要

- 「鳥取の果樹のおいしさを全国に広めたい」との想いから、鳥取大学の学生が令和3年に設立した学生サークル。
- 週末に鳥取市や八頭町の梨、柿農家の農作業を手伝い、栽培の知識を学んでいる。
- 地元企業などの協力を得て、規格外の梨、柿や梨の葉を使った新しいスイーツの開発・販売を行うなど6次産業化にも取り組んでいる。



梨の袋掛け作業



販売の様子



柿プリン

〒680-0945 鳥取市湖山町南1-246
0857-37-3373 yuiline.totto@gmail.com

関連情報はこちら ▶



くらよしいたいけんがたきょういくりょこうゆうちきょうぎかい
倉吉市体験型教育旅行誘致協議会
いなかといいなか セキガネたいけん

概 要

- 過疎化・高齢化が進む中山間地域において、民泊を利用した農業体験ツアーを商品化し、都市部からの誘客を行っていたが、コロナ禍により受入れをやめていた。その後、人や農村とその生活などの地域資源を活用した教育旅行誘致を本格的に再開し、都市部の住民や学校との交流を促進。
- コロナ禍が明け、台湾の高校生を含めた修学旅行を中心に、農村生活体験や民泊において、年間約1,000人の受入を行った。



民泊体験：野菜の収穫

成 果

- 受入家庭では、中心となる女性・高齢者の活躍の場と所得向上になることにより、やりがいと地域活性化につながっている。
- 生徒や受入家庭の笑顔、後日生徒から送られた感謝の手紙などで、改めて「人の交流」の素晴らしさを実感している。今後も地域の関係者と協力しながら活動を継続していきたい。



また来てごしない、待っとるけえな〜

〒682-0411 倉吉市関金町関金宿1139
0858-45-1122 taiken@sekigane.com

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞

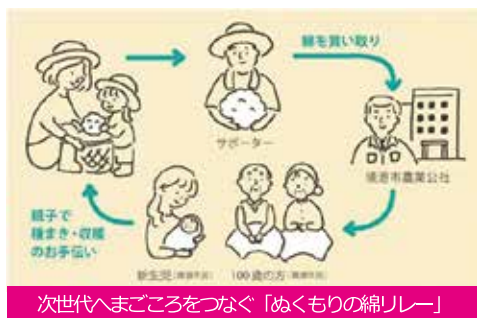
いっばんざいだんほうじん さかいみなとしのうぎょうこうしゃ

一般財団法人境港市農業公社

和綿「伯州綿」を活用した地域活性化事業

概 要

- 遊休農地を解消するため、江戸時代から栽培されている伝統的な地域資源である和綿「伯州綿」の再興を目指し、平成20年度から栽培を開始。
- 栽培サポーター制度を導入し、地域住民や地域おこし協力隊員とともに農業や化学肥料を使わない綿づくり、小学校等での授業や体験活動の支援及び普及活動を行う。
- 民間事業者とともに伯州綿を使用した商品開発や販路拡大を行い、伯州綿のブランド化に取り組む。



成 果

- 催し「てぬぐいひらひら」では、毎年1,000人以上の来場者があり、令和4年度には第27回ふるさとイベント大賞ふるさとキラリ賞を受賞。
- 栽培サポーターの人数は年々増加傾向にあり、任務を終えた地域おこし協力隊員も定住し、伯州綿に関わる事業を営んでいる。
- 境港市では、遊休農地の解消、赤ちゃんへのおくるみプレゼントによる子育て支援、百歳を迎えた高齢者へのひざかけプレゼントによる高齢者支援など、多面的な効果が生まれている。



催し「てぬぐいひらひら」

〒684-8501 境港市上道町3000(境港市役所 農政課内)
0859-47-1049 nosei@city.sakaiminato.lg.jp

関連情報はこちら ▶



とくていひえりかつどうほうじん

さきも

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

海～川～山をつなぐ（環境の保護・再生・中山間地域）再生

概 要

- 平成16年に当法人を設立。中海再生プロジェクト「よみがえれ中海」をテーマに、将来を担う子ども達へ未来をつなぐため、環境保全・再生活動に取り組む。
- 中海で異常繁殖した海藻類を回収し、出雲国由来の海藻肥料として活用（SDGs）。その海藻肥料を使った「海藻米」の田植え・稲刈りイベントを実施。
- 中海の水質浄化、魚介類の産卵・育成場となるアマモ場の再生のため、種子採取・移植活動など環境教育にも取り組む。

成 果

- 毎年、紅藻類の「オゴノリ」等を刈り取ることで、水質浄化や漁業資源回復に寄与。
- 境港市では食育の観点から「海藻米」を学校給食に採用。10年以上続く日野町での海藻米の田植え・稲刈りには、各地区の多くの子ども達が参加し、食育につながっている。
- 今年新たに開発した海藻肥料の液肥を使用した果樹等の栽培を進めており、更なる有機農業の拡大が期待される。



中山間地域での海藻米の田植えイベント



小学生への環境講演



海藻肥料使用の産物をPR・販売する海鮮・山鮮おカモノ祭

〒684-0004 境港市大正町38番地
0859-47-4330 jimu@npo-sakimori.net

関連情報はこちら ▶





いでかみのうち みずほぜんかつどうそしき
出上農地・水保全活動組織
 次世代につなげ、明るい地域を目指して

概 要

- 過去に幾度となく氾濫している勝田川が流れている出上地区において、農業者の高齢化や水路など農業施設の老朽化が進む。過去に小作争議の舞台だったことから人と農地が重要な土地柄。
- 平成24年から多面的機能支払交付金を活用し、地域一帯での共同活動に取り組み、地域の持続性と活性化を目指し活動している。また、流域治水対策として、令和3年度から地区内の田んぼに自作の排水調整板(せき板)を設置し、雨水貯留機能の強化(田んぼダム)に取り組んでいる。



田んぼダム(せき板・のぼり設置)



軽トラ水族館(生き物観察)



農村文化の伝承(田植え)

成 果

- 田んぼダムの取組は令和3年度から開始し、令和5年度には31haで実施。また、親子で用水路の生き物観察をする軽トラ水族館の開催、地元小学校と連携した田植え体験など農業体験や農業関連行事の伝承により、農村コミュニティの強化につながった。
- 当地区で毎月開催される「地域食堂」に野菜や米などを提供。「地域食堂」には、子どもから高齢者まで多くの地域住民が参加しており、食育活動を通じて、孤立や孤食を防ぎ、多世代が集う「みんなの居場所」作りに貢献。

〒689-2511 東伯郡琴浦町出上230-1
 0858-55-0741 akasaki-bunka@town.kotoura.tottori.jp

地方
 奨励賞

いっばんしゃだんほうじんみなみ
一般社団法人南さいはく
 地域を代表する特産品づくりにより活性化

概 要

- まちづくりと住民自治の基盤づくりを目的に設立された地域振興協議会でウド特産品化の取組開始。地域活性化を図るため令和3年に農産加工品の製造販売で一般社団法人を設立した。
- 地域で未利用だったウド・梅・ゆず等の農産物を使った羊羹や漬物等を製造販売。また、エゴマをエゴマ油に加工し販売している。

成 果

- 住民が地域農産物の加工・販売に取り組むことにより、地域の所得向上と生きがいづくりなど、地域活性化に寄与。
- 耕作放棄地でのエゴマ栽培により、耕作放棄地の拡大を防止している。
- 都市部の民間活力を利用して新商品の開発に取り組むなど、加工品を通じた地域と県内外の関係人口の拡大につながっている。



調理室にてウド羊羹の製造



梅・ゆず・ウドの3種類の羊羹

〒683-0342 西伯郡南部町能竹394-2
 0859-66-2705 houjin.minamisaihaku@gmail.com

しみずがわのうち みず かんきょうほぜんこうじょうたいさくきょうぎかい
清水川農地・水・環境保全向上対策協議会
 つながる古事記ゆかりの地

概 要

- 将来の地域農業に不安を感じていた非農家を含む地区住民が、農地維持活動を行うことで美しい農村環境を守ろうと平成19年に活動組織を設立した。
- 組織設立以降、継続して地区全体で泥上げや草刈り等の一斉清掃に取り組むとともに、地域の将来について積極的に意見交換を実施。
- 農家・非農家を問わず連携できる農村を次世代につないでいくため、各世代のリーダーが中心となり、集落全体で賑やかに活動を行っている。



古代米の田植え

成 果

- 古代米の田植えと収穫イベントを通じて、地区内の非農家世帯をはじめ地区内外の各種団体とのつながりが拡大。古代米を原料とする日本酒の販売で、古事記ゆかりの清水川地区をPRしている。
- 農地維持、景観形成、歴史の伝承、特産品開発等の取組が農村コミュニティ維持・発展に寄与している。



古代米の稲刈り

〒683-0201 南部町天萬558
 0859-64-3783 sangyou@town.tottori-nanbu.lg.jp